

科目分類	専門分野	学 年	2 年	担当教員の氏名・職名
授 業 科 目 名	臨床判断演習Ⅱ	学 期	前 期	三 浦 陽 子 （看護教員）
		単 位 数	1	
		時 間 数	20	
目 的 (ねらい)	臨床判断演習Ⅰの学びをもとに、更に複雑な事例を通して思考力や想像力を養い、患者のニーズや健康問題を解釈し、対象の状態や状況に応じて判断して看護を実践する能力を身につける。また、根拠をもって実践した看護を振り返る能力を身につける。地域で生活しながら療養する人々とその家族を理解し、在宅での看護の基礎を学ぶ。			
目 標	1. 「気づき」から患者のニーズや健康問題を解釈できる 2. 対象の状態や状況に応じて必要な看護を判断し、実践できる			
授 業 計 画	回数	単元項目	内容	授業形態
	1	事例の理解 1. 看護過程の展開 1) 情報収集	・電子カルテから情報収集を行う	講義・GW
	2	2) 関連図	・関連図を作成し、患者理解、病態の理解を深める	講義・GW
	3	3) 具体策	・術後1日目の計画立案	講義・GW
	4	2. 基礎看護技術の習得 1) 基礎看護学実習で行う機会が多い項目について 学習	・事例を通して技術を考える ・基礎的看護技術 (方法の確認) ・点滴中の患者の寝衣交換	演習
	5	技術演習		演習
	6	技術演習		演習
	7	2) 点滴中の患者の寝衣交換	・技術試験	試験
	8	3. 臨床判断の実際 1) 場面1	場面1を通して学ぶ 場面2を通して学ぶ	GW・演習
	9	2) 場面2		GW・演習
10	1. 看護過程の展開 4) 考察・次回のプラン 全体のまとめ		講義	
教 科 書				
参 考 文 献	その都度紹介します			
評 価 方 法	提出物と技術試験で評価します			
関 連 科 目	専門基礎分野、看護学全般、臨床判断演習Ⅰ			
自 己 学 習 に 関 する 指 針	専門基礎分野、専門分野でこれまでに学んだ地域を踏まえて授業を展開する			
そ の 他 の 通 知 事 項				